

加古川の大規模氾濫について、国・県・市町の防災担当者と意見交換を実施 ～第10回『加古川減災対策協議会』幹事会を開催～

— 姫路河川国道事務所 —

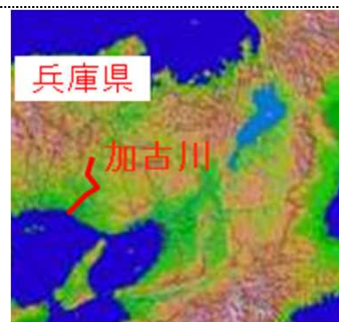
本協議会は、加古川において大規模氾濫が発生することを前提として、堤防決壊等に伴う大規模浸水被害に備え、沿川市町と河川管理者である国・兵庫県等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、**社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を継承・再構築すること**を目的としています。

第10回幹事会では、来年度の減災対策協議会に向けて、各機関の取組に関して意見交換や情報提供を行いました。

概要

対象河川：加古川水系加古川

- 日時：平成31年1月28日（月）10：00～11：45
- 場所：姫路河川国道事務所
- 主催：姫路河川国道事務所 調査課（加古川減災対策協議会事務局）
- 参加機関：加古川市、高砂市、小野市、加東市、兵庫県 総合治水課
兵庫県 災害対策課、加古川土木事務所、加東土木事務所、
神戸地方気象台、姫路河川国道事務所



幹事会概要

<意見交換>

- ・平成30年度の各機関の取組状況について
- ・平成31年度の各機関の取組予定について
- ・平成30年7月豪雨における水防活動について

<情報提供>

- ・加古川の卓上模型、浸水疑似体験ARについて
- ・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」
- ・「中小河川における簡易的な水害リスク情報」



河川管理者の挨拶



各機関からの取組状況の報告



市町からの意見等



幹事の方々に、実際の川の氾濫の様子を見て貰うために模型に水を流し、実演しました。

卓上模型の紹介



浸水疑似体験ARの紹介



AR開発画面

各機関の平成30年7月豪雨のふり振り返り

- ・避難勧告等の発令は隣接する市町とタイミングが異なる。
- ・職員は24時間体制で休憩もできない状況であった。
- ・国からホットラインの連絡を受け、市で避難指示を出すことができた。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所
〒670-0947
姫路市北条1-250
TEL 079-282-8211

